

第14回 日本アスレティックトレーニング学会学術大会

The 14th Annual Meeting of Japanese Society for Athletic Training

総合知 による アスレティックトレーニング学の 進化と深化

オンデマンド参加者マニュアル

Participants' Manual

テーマ：総合知によるアスレティックトレーニング学の進化と深化

対面実施期間：2025年9月6日(土)～9月7日(日)

会場：帝京平成大学池袋キャンパス（東京都豊島区）

オンデマンド配信期間：2025年10月6日（月）9:00～10月31日(金) 23:59

大会長：砂川 憲彦（帝京平成大学）

※ 対面開催実施後にオンデマンド配信をいたします。

（オンデマンド配信期間中ははどの時間帯でも視聴閲覧することが可能です）

※ Web会場では、発表者に対して質疑応答のやり取りができます。

上記の会期とは異なります。ご注意ください。

質問投稿期間： 2025年 10月6日（月）～ 10月24日(金) 23:59

質問回答投稿期間： 2025年 10月6日（月）～ 10月31日(金) 23:59

⚠ 禁止事項

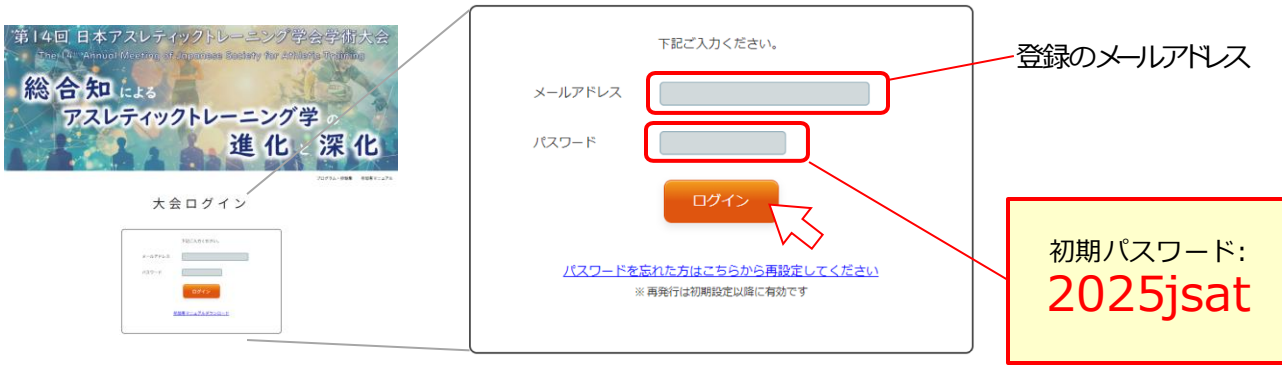
本学術大会ではすべてのビデオ講演の発表や一般講演発表のいずれもその作者と発表者に著作権があります。これらの著作物の録画・撮影画面のハードコピー・パソコンやその他の記録媒体への保存等の行為は一律禁止とさせていただきます。またこれらの著作物を本会以外のホームページ、SNSなどに掲載することも固くお断りさせていただきます。

【大会WEB会場へのログイン方法】

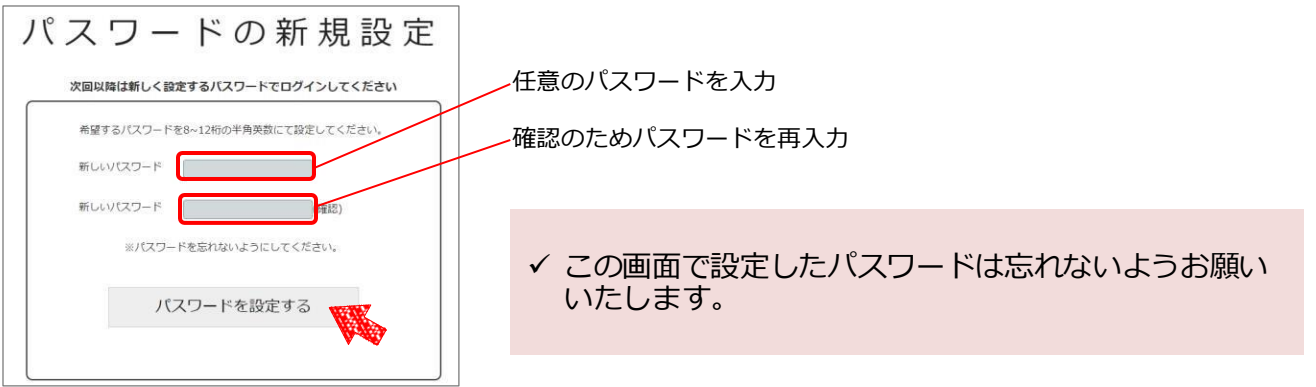
- ・第14回日本アスレティックトレーニング学会学術大会の専用サイトの[[大会WEB会場はこちら](#)] WEB会場はこちら]よりアクセスしてください。日本アスレティックトレーニング学会のホームページのTOPICS欄記載のURLからもログインできます。
- ・大会専用サイトの右枠にある[[大会WEB会場はこちら](#)] WEB会場はこちら]をクリックしてください。学会ホームページからも同様にアクセスできます。



1. 最初のログインでは、参加登録いただいた際の「メールアドレス」と「初期パスワード」を入力いただき、ログインしてください。



2. 初期ログイン時のみ、パスワードの設定画面が表示されます。



3. 上記のパスワード設定で、大会サイトにログインできます。(2025年10月6日(月) 9:00以降)

✓ 2回目以降のログインの際は、設定したパスワードでログインしてください。

4. 大会会場からのログアウト方法

視聴閲覧などが終わりましたら、大会トップメニューの「ログアウト」で退場してください。

1. 【大会長基調講演】のページにある「視聴する」ボタンをクリックしてください。



会長講演

総合知によるアスレティックトレーニング学の進化と深化

砂川 憲彦

帝京平成大学人文社会学部



近年、アスレティックトレーニング学は目覚ましい発展を遂げており、世界各国から多様な知見が活発に発信されるようになってきている。しかし、科学的根拠に基づく情報が広く流通する現代においても、スポーツに関わる人々が直面する課題は依然として多岐にわたり、アスレティックトレーナーはその解決に向けて最適な支援の在り方を模索し続けている。

現場で顕在化する課題の多くは、多因子的かつ相互に関連する要素が複雑に絡み合っており、単一の専門的視座では十分に対応し得ない高度な複雑性を有している。このような多元的・複合的課題に対し包括的に対応するためには、学際的知識の涵養と、柔軟で確かな実践力の修得が不可欠である。

とりわけ、アスレティックトレーニング学に関連する諸専門領域が急速に進展している今日においては、各分野の知見を有機的に統合する「総合知」の構築こそが、同様のさらなる「進化」と「深化」を促進する鍵となる。このような知的統合は、学術的・実践的双方の観点から重要性を増しており、異分野間の知的融合によって創出される新たな価値は、安全かつ安心なスポーツ環境の整備に留まらず、スポーツの多様な価値の保全や、人々の多様な幸福 (well-being) の実現にも寄与し得る。

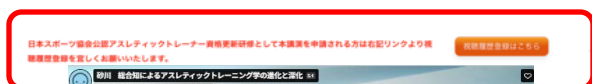
本講演では、アスレティックトレーニング学の「進化」と「深化」を支える「総合知」の意義について論じ、その構築に向けた思考の枠組みや今後の展望について考察する。

[学歴/経歴・役職・研究要約/書籍など](#)

会長講演を視聴する

2. 大会長基調講演の発表ページで、発表動画の視聴ができます。

大会長基調講演を視聴するには、下図の赤枠内の再生マークをクリックしてください。



JSP0-AT申請用のリンク

視聴閲覧期間：

2025年10月6日(月)9:00～ 10月31日(金) 23:59

質問投稿期間：

2025年10月6日(月)9:00～ 10月24日(金) 23:59

質問回答期間：

2025年10月6日(月)9:00～ 10月31日(金) 23:59

再生/停止

音量調整 画面サイズ変更

拡大図



✓ 申請対象発表ページにJSP0-AT申請用のアンケートリンクがございます。クリックして視聴後ご回答をお願いいたします。

※JATIの継続単位取得を希望の方はシンポジウム1、2にアンケートリンクがございます。

※健康運動指導士、健康運動実践指導者の履修単位申請を希望の方は、視聴を終えた時点で事務局までご本人の資格証の画像を添付の上、メールをお送りください、その後にアンケートを返信いたします。

大会長基調講演

公開シンポジウム

シンポジウム

教育講演

学術ワークショップ

口頭発表

ポスター発表

ナビゲーションバーより各ページにアクセスしていただき、緑の「視聴する」ボタンをクリックしてください。

公開シンポジウム

テーマ
アスレティックトレーニングと地域社会の未来

公開シンポジウムを視聴

講演動画

- ✓ 各登壇者への質疑応答が可能です。
「詳細はこちら」のボタンより質問が可能です。
JSPO-AT申請用のアンケートリンクがございます。クリックして視聴後ご回答をお願いいたします。
- ✓ シンポジウム1、2にはJATI申請用のリンクがございます。クリックして視聴後ご回答をお願いいたします。

視聴閲覧期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金) 23:59

質問投稿期間：2025年10月6日(月)9:00～10月24日(金) 23:59

質問回答期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金) 23:59

教育講演の視聴方法

大会長基調講演

公開シンポジウム

シンポジウム

教育講演

学術ワークショップ

口頭発表

ポスター発表

教育講演は4つの視聴プログラムがあります。
動画をご覧になるには、各講演のタイトルをクリックください。

機能解剖とスポーツ科学を外傷・障害予防トレーニングへ

講師: 木山 幸博
(横浜大学体育系)

詳細はこちら

Effective Injury Prevention for Youth Athletes: Bridging Research to Practice

講師: Merete Møller
(University of Southern Denmark, Oslo Sports Trauma Research Center)

詳細はこちら

(日本アスレティックトレーニング学会・日本臨床スポーツ医学会 合同プログラム)
アスレティックトレーナーに知っておいてほしい医学的知識—
頭部外傷について—講師: 藤谷 博人
(聖マリアンナ医科大学スポーツ医学講座)

詳細はこちら

(日本アスレティックトレーニング学会・日本臨床スポーツ医学会 合同プログラム)
公衆衛生分野における観察、介入研究の事例から考えるスポーツ外傷・障害予防研究講師: 中田 由夫
(横浜大学体育系)

詳細はこちら

講演動画

- ✓ 各登壇者への質疑応答が可能です。
「詳細はこちら」のボタンより質問が可能です。
- ✓ JSPO-AT申請用のアンケートリンクがございます。クリックして視聴後ご回答をお願いいたします。

視聴閲覧期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金) 23:59

質問投稿期間：2025年10月6日(月)9:00～10月24日(金) 23:59

質問回答期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金) 23:59

1. 「口頭発表」のページにアクセスいただくと8つのタイトルが表示されます。
8つのタイトル(発表詳細)をクリックしてください。発表タイトルとセッションごとの動画視聴がいただけます。

口頭発表1発表詳細

口頭発表2発表詳細

口頭発表3発表詳細

口頭発表4発表詳細

口頭発表5発表詳細

口頭発表6発表詳細

口頭発表7発表詳細

口頭発表8発表詳細

カテゴリー毎の「発表詳細」ボタンを選択すると発表者一覧と動画が表示されます

口頭発表1発表詳細

5003高校女子サッカー選手との試合間における睡眠習慣、生活習慣および月経症状の経時的変化

5003成長期競技選手における外傷・障害調査～早期専門化以降の傾向と調査～

5003高校ラグビーにおけるタックルの高さに関する試験的ルール導入の影響

5004男子大学柔道の練習中における関節衝撃が軸轉近点距離に及ぼす影響

5005デファアスリートに対する脳振動運動器動脈の介入効果：早期前後比較による検討

詳細発表・質問・回答

詳細発表・質問・回答

詳細発表・質問・回答

詳細発表・質問・回答

詳細発表・質問・回答

発表動画

2. 発表内容の詳細確認や質問をいただくには各発表者の詳細ページが表示されます。

口頭発表

演題カテゴリー	口頭発表一般演題(学術研究)
演題タイトル	5003 高校女子サッカー選手との試合間における睡眠習慣、生活習慣および月経症状の経時的変化
発表メンバー	柳田 真央(日本体育大学) 柳田 真央 1) 2)、伊藤 遥 2)、二橋 真由 4)、佐藤 祐二 4)、杉澤 真 1) 2) 1) 日本体育大学大学院保健体育学専攻、2) 日本体育大学スポーツ・健康・社会科学研究科、3) 日本体育大学保健体育学専攻、4) 東京大学大学院理学系研究科、5) 東京大学大学院コミュニケーション学専攻

① 概要が閲覧できます。

【要旨】 われわれはこれまで、高校女子サッカー選手に対して試合間の睡眠に関する睡眠習慣、生活習慣と身体組成の変化を報告した。試合間は身体負荷が高く、睡眠習慣や生活習慣、月経症状が変化する可能性がある。しかし、試合間におけるコンディションの回復を助けるための報告はほとんど見られなかった。

【目的】 本研究の目的は、高校女子サッカー選手を対象として、試合間(4月～12月)における睡眠習慣、生活習慣および月経症状の経時的変化を明らかにすることとした。

【方法】 研究デザインは前向きコホート研究とした。対象は、高校女子サッカー選手14名(平均年齢16.6歳±0.3歳)とした。睡眠習慣の評価は、ビッツバグ睡眠記録器(PSQ)・日本国産活動量計(Fitbit Inspire 2)を用いた。生活習慣の評価は、健康度・生活習慣調査表(DHVAL-2)を用いた。月経症状の評価は、月経管理履歴表(MHQ)・日本国産活動量計を用いた。評価は、2024年4月から12月まで毎月1回、練習前に実施した。活動量計は、対象には測定期間中、記録前に着用するよう指示した。統計解析は、PSQのスコアによる睡眠不足と良好な睡眠の比較にはMann-WhitneyのU検定、各項目の月ごとの変化は、一般化線形混合モデルを用いて評価した。

【結果】 4月～12月に測定した全データの平均値を示す。PSQのスコア(5点以上)は21件、良好睡眠(5点以下)は16件であった。不良睡眠は良好睡眠と比較して、身体組成、嗜好品、休息、睡眠の傾向性、睡眠の充足度、生活習慣調査表のスコアに有意な差を示した。月ごとの変化において、PSQのスコアは、7月、8月、11月、12月が基準月(4月)と比較して有意に増加した。

【考察】 PSQのスコアと良好睡眠の比較から、睡眠は、栄養と睡眠を両方とらなければならぬ対象において重要なコンディションであると考えられた。月ごとの変化において、睡眠習慣の乱れは、7～8月が学年や経歴、最終学年下での練習量となり、11～12月がシーズン終盤に伴い疲労の蓄積が影響したと考えられた。試合間の身体負荷が高くなる場合に睡眠習慣が乱れたことから、試合間を通じて睡眠習慣をしっかりとることを奨励する必要がある。

【結論】 報告したとおりである。

【倫理の配慮】 日本体育大学倫理審査委員会の承認を経て実施した。

キーワード：睡眠習慣、前向きコホート研究、PSQ

新規の質問

質問期間：2024年10月24日(金) 23:59分
回答期間：2024年10月31日(金) 23:59分
※質問事項はすべて公開範囲に公開されることとなります

全てのテキスト欄は2,000文字以内でご入力ください

② 抄録・資料などがご覧いただけます。

③ 新規の質問
下記期間内でどなたでも発表に対しての質問が可能です。修正はできません。

視聴閲覧期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金)23:59
質問投稿期間：2025年10月6日(月)9:00～10月24日(金)23:59
質問回答期間：2025年10月6日(月)9:00～10月31日(金)23:59

意見・質問等は、学術的見地に基づいての記述をお願いいたします。
発表者個人・所属等への論拠のない誹謗・中傷等は、厳に慎んでください。

The screenshot shows a web interface for Q&A. It includes a form for asking questions, a list of questions and answers, and a form for replying to questions. Numbered callouts highlight specific features:

- 3**: New question form with a text input field and a '送信する' (Send) button.
- 4**: List of questions and answers, showing a question from '日本 一郎 (A A A 大学)' and a reply from '山田 太郎 (B B B 大学)'.
- 5**: Button to '回答・再質問を表示する' (Show answer/requestion).
- 6**: Detailed view of a question and answer, showing the questioner's name and affiliation.
- 7**: Reply form with a text input field and a '回答を送信する' (Send answer) button.

一般視聴者の方へ (研究発表に対して質疑投稿の方法)

参加者による質疑期間は、
2025年 10月6日(月) ～ 10月24日(金) 23:59です。

- 質問を入力すると、お名前と所属先はログイン情報から自動反映され表記されます。
- 全ての質疑に対して、開催中にお答えできない場合がございます。予めご了承ください

◆質問を投稿する方法

- 新規の質問欄のテキスト項目(上図③青枠内)に質問を入力し、「質問を送信する」ボタンをクリックしてください。
- 1回につき、2,000文字まで入力できます。ログイン情報から、お名前・所属先は自動表記されます。
- 投稿された質問は、[質問と回答一覧]に蓄積していきます(上図④黄色枠)。

◆回答を確認したり、再質問(コメント)を投稿する方法

- 回答を見たり、再質問・コメントを投稿する際は、上図⑤「回答・再質問を表示する」をクリックしてください。
- 質問の詳細が表示されます。(上図⑥が詳細表示のイメージ)
- 再質問(コメント)を投稿する際は、上図⑦のテキストに入力をしてください。

発表者の方へ (質疑投稿に対しての回答方法)

発表者による回答期間は
2025年 10月6日(月) ～ 10月31日(金) 23:59です。

- 期日内に、できるだけご回答を頂ますよう、ご協力お願いいたします。
- ご自身の発表ページで、質疑に対して回答ができます。他の方への質問などは、一般視聴者と同様に投稿ができます。

◆質疑に対して回答をする方法

- ご自身の発表ページに投稿された質問は、[質問と回答一覧]に蓄積されていきます。(上図④)
- 上図⑤「回答・再質問を表示する」をクリックして頂き、質問の詳細を表示してください。詳細表示内に、テキスト項目(上図⑦)がございます。
- テキスト欄に回答をご入力頂き、「送信」をクリックしてください。ログイン情報から、回答者である旨は認識されます。
- 上図⑥「回答・コメント」の表示の後に氏名・所属が自動反映されます。

◆他の発表に対して質問を投稿する方法

- ご自身の発表ページには、上図③の「新規の質問」欄はございませんが、他の発表者のページには表記されております。「一般視聴者の方へ」(上記赤枠)をご参照頂き、ご投稿ください。